Akiruno Gakuen
# 学 校 だ よ り
東京都立あきる野学園
令和８年１１月２日（月）
第８号

## 日々の授業を大切にした新たな取組への期待

校長　　緒方　直彦

秋も深まり、朝夕には肌寒さを感じる季節となりました。校内の木々も少しずつ色づき始め、子供たちはそれぞれの学習や活動に落ち着いて取り組んでいます。一方で、この時期は昼夜の寒暖差が大きくなり、体調を崩しやすい季節でもあります。感染症も流行しやすい時期ですので、十分な睡眠やバランスのよい食事、手洗いなどの基本的な生活習慣を大切にしながら、健康管理に努めまいります。ご家庭におかれましても、お子様の体調の変化にご留意いただき、学校との連携にご協力をお願いいたします。

さて、今年度からの新たな取組として「あきスポウィーク」を実施します。本校では、日頃から体育や自立活動、各教科等の学習を通して、一人一人が自分の力を高め、友達と協力しながら活動する力を育んでいます。あきスポウィークは、そうした日々の学習の成果を発揮する大切な機会です。児童・生徒一人一人がこれまでの学びを自信をもって発表し、自らの成長を実感してほしいと思います。また、互いの頑張りを認め合い、あきる野学園らしい温かい交流の場となることを期待しています。本年度も半年以上が過ぎ、子供たちの成長が大きく感じられる時期でもあります。教職員一同、子供たちが安全で健康に学校生活を送り、それぞれの力を十分に発揮できるよう支援してまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 創立３０周年に振り返る「あきスポ」

副校長　永峯 秀人

平成９年１０月１０日、第１回あきる野学園スポーツフェスティバルが開催されました。当時、私はＢ高の担任として「あきスポ」に携わりました。あきスポは「A・B部門や各学部間の交流」をねらいとし、司会進行を担う高等部生徒会も、当時は両部門合同で活動していました。一人一種目を選んで出場する「選択種目」には、「綱引き」「選抜リレー」などがありました（リレーでは、教員も走ったように記憶しています）。練習を重ねなくても参加でき、日々の授業をできる限り変更せずに実施できるよう工夫していました。また、各学部の全員が参加する「徒競走」「あきスポダンス」では、児童・生徒が互いに応援したり、一緒に踊ったりして交流する姿が見られました。３０年を経て「あきスポウィーク」へと形は変わりましたが、「体育の成果を発表する」という基本的な考え方は変わりません。児童・生徒が発表を通して達成感を得るとともに、当時も今も大切にしている日々の授業を軸に、安定した学校生活を送れるよう努めてまいります。併せて、全校で交流する機会も大切にしていきたいと考えています。

保護者の皆様には、ぜひ各学部の発表日にご来校いただき、温かいご声援を賜りますようお願いいたします。

## 校外学習　A 小学部

10 月には、全グループが校外学習に出かけました。

サボテン・ひまわりグループは、羽村動物公園に行きました。ふれあいコーナーでは、モルモットのぬくもりを感じて優しくなでることができました。また、園内を散策しながらさまざまな動物を観察し、気付いたことを友達や先生に伝えたり、話し合ったりしました。

わいわいグループは、サイエンスドームに行きました。実際に触れたり、スイッチを押したりして体験できる展示があり、子どもたちは目の前で起こる不思議な動きや変化に興味をもちました。遊びを通して、科学の面白さに触れることができました。

子どもたちにとって、楽しみながらさまざまな経験を広げる校外学習となりました。

## 芸術鑑賞教室　B 小学部

10 月 16 日（金）、小学部を対象に芸術鑑賞教室が行われました。コロナ禍で一時休止していましたが、昨年度より「劇団飛行船」の皆さんをお招きし、公演を行っていただいています。今年度の演目は「赤ずきん」です。軽快な音楽や楽しいダンスに心を弾ませる子供たち。一方、赤ずきんとおばあさんがオオカミに食べられてしまう場面では、目を丸くして舞台に見入る姿がとても印象的でした。公演の最後には、赤ずきんから素敵なお手紙もいただきました。普段の授業や学校生活ではなかなか味わうことのできない、舞台ならではの臨場感や高揚感を存分に感じる、貴重なひとときとなりました。

## 芸術の秋満喫！修学旅行　A 中学部

3 年生は 10 月 15 日、16 日に立川で修学旅行を実施しました。

PLAY! MUSEUM では、絵本作家による生き物をテーマにしたダイナミックな構図の大型作品を鑑賞しました。迫力ある作品を前に、表現の豊かさを感じながら、じっくりと作品の魅力を味わいました。

ホテルでは、歓迎のハロウィン飾りや一品一品彩り豊かに盛り付けられた夕食など、心のこもったおもてなしに触れました。退館前には、生徒自らの提案でホテルの方にお礼の手紙を書きました。後日ホテルの方から届いた返事に感動するなど、相手を思いやる気持ちや感謝を伝えることの大切さを実感できた実りある修学旅行となりました。

## 笑顔と学びの体験プロジェクト

10 月 7 日（水）、B 部門の中学部・高等部の生徒を対象に、東京室内管弦楽団によるオーケストラ鑑賞教室を行いました。

高等部の生徒会が司会を務め、開会の挨拶やオーケストラの紹介を行いました。指揮者体験のコーナーでは、代表の生徒がプロのオーケストラを前に指揮に挑戦しました。堂々とした指揮に会場から「ブラボー！」と喝采が送られ、緊張していた体験者の表情がほころびました。プログラムの終盤に演奏されたオッフェンバック作曲「天国と地獄」では、生徒たちは手拍子で演奏に参加し、会場の一体感を肌で感じました。生徒一人一人が演奏に真剣に耳を傾け、学びを深める貴重な機会となりました。